

日中同形二字漢語動詞「V出」の自他性について

The Intransitive/Transitive of Japanese-and-Chinese orthographically similar two-kanji compound words

羅 非凡

LUO, FEIFAN

摘要

This paper discusses the differences between Japanese and Chinese homomorphic two-character Chinese verbs "V *syutu-suru*" in terms of auto-eternity and meaning. First, we discussed the difference in Intransitive/Transitive of "V *syutu-suru*" in Japanese and Chinese. As a result, both Japanese "V *syutu*" and Chinese "V *chu*" can be divided into three types of usage: intransitive verb, transitive verb, and reflexive verb. However, in the case of reflexive verb, the case in which the action subject moves involuntarily can be handled in Japanese and Chinese, whereas the case in which the action subject moves voluntarily cannot be handled. This paper pointed out that the latter case is common in Chinese.

Next, we discussed the difference of the meaning between "V *syutu-suru*" in Japanese and "V *chu*" in Chinese. As a result, the Japanese/Chinese homomorphic "V *syutu*" has two major meanings, "move" and "appear". However, when expressing the meaning of "movement," it was clarified that the case of expressing "movement of a person/thing from inside to outside" can be supported in both Japanese and Chinese, but when expressing the derivative "abstract movement," it is just to support in either Japanese or in Chinese. In addition, while the Japanese word "V *syutu-suru*" in certain cases, such as reporting an actual scene, "*teiru*" expresses the meaning of "in progress," the Chinese language takes it as the result (completion) of "V *chu*," so the aspect particle "*zhe*" or the adverb like "*zhengzai*" indicating "in progress" cannot be used. And there are many other Chinese "V *chu*" verbs besides the 29 examples in this paper. These examples can be thought of as corresponding to the Japanese compound verbs "V *dasu*" and "V *deru*". Therefore, it remains to be seen whether and when Chinese "V *chu*" corresponds to Japanese compound verbs or to Japanese Chinese verbs.

キーワード：日中同形語 自他性 意味分析 二字漢語動詞 日中対照研究

Keywords: Japanese/Chinese homonyms, Intransitive/Transitive, Meaning analysis,

Two-character Japanese/Chinese verbs, Japanese/Chinese Contrastive analysis

1. はじめに

本研究は日中同形二字漢語動詞「V出」の自他性と意味の違いについて考察したものである。日本語の「流出」について『角川国語辞典』（新版）と『岩波国語辞典』（第8版）では自動詞と記述されているが、『新明解国語辞書』（第八版）では自動詞及び他動詞と記述されている。このように辞書によって「流出」の自他性の判断が分かれている。また、「Webデータに基づく

サ変動詞用例データベース（開発版）」を検索すると、「流出する」は全 2,445 件のうち、例（1）、例（2）のように流出の内容物が「ガ格」を取る例は 688 件出現し、例（3）、例（4）のように「ヲ格」を取る例は 10 件出現する。

- （1）大事な情報が流出すると、企業としての信頼が失墜する。（自）
- （2）プールから冷却水が流出するのは時間の問題です。（自）
- （3）提出要請があった場合以外、第三者に個人情報を開示・流出する事はない。（他）
- （4）BさんはAの元彼女で、昨年10月には、写真を外部に流出すると所属事務所を脅迫、10億ウォンを要求したという。（他）

例（1）と例（2）は流出の主体である「情報」や「冷却水」が「ガ格」で表され、「主体が（ある空間から）流れて外部へ移動する」の意味を表すため自動詞と判断される。例（3）と例（4）は流出の対象である「情報」や「写真」が「ヲ格」で表され、「対象を（ある空間から）外部へ流して移動させる」という意味を表し、対象に働きかけて位置変化させることを表すため他動詞と判断される。

また、現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）を検索すると、「流出する」は例（5）のような再帰的用法の例も出現した。

- （5）約 2 万年前後には、（筆者注：富士山は）大量の泥流を流出した。（富士自然動物園協会編『富士登山ハンドブック』,2001）（再帰）

例（5）は「富士山（主体）が（その中から）泥流（対象）を流出する」という意味を表し、主体から対象への働きかけではなく主体自身の変化を表し、主体と対象が全体とその中の一部分の関係であるため、同じ「ヲ格」を取っているが、例（3）や例（4）と異なり、他動詞用法ではなく再帰的用法として使われていると考えられる⁽¹⁾。

一方、中国語の“流出”は自動詞用法と再帰的用法がよく使われる。「北京语言大学语料库（BCC）」で“N+流出”を検索すると、全部で 5,234 件出現した。そのうち例（6）のように自動詞の例は 3,167 件であった。

- （6）火山口已经有熔岩流出。（福建日报，2006-5-11）（自）（筆者訳：火口からすでに溶岩が流れ出している。）

例（6）の“流出”は流出物が前に来て主体として機能しているため、自動詞として使われている。

一方、“流出+N”を検索すると、全部で3,175件出現した。そのうち、例(7)のようにNに場所名詞が来るものが387件で、例(8)のように流出物が来る例が2,219件出現した。

(7) 注重更新换代，坚决杜绝假冒伪劣商品流出国门。(科技文献)(自)(筆者訳：リニューアルを中心に、偽造品や粗悪品が国外に流出するのを阻止する。)

(8) 你或者会丢人地流出眼泪，或者会疯狂地破坏一切成果…(张承志，《北方的河》)(再帰)

(筆者訳：あなたは恥ずかしくて涙を流すか、気が狂ってすべてを台無しにして…)

例(7)と例(8)はいずれも“流出”の後に名詞が来ている。しかし、前者の場合は場所名詞であるのに対し、後者の場合は流出物を表す名詞であるという違いがある。例えば、例(7)の“流出”は“国门”(国)という場所名詞を取り、日本語の「起点/経路/通過点」を表す「ヲ格」に相当するため、自動詞であると考えられる。

一方、例(8)の“流出”は“你流出眼泪”のように“眼泪”(涙)という目的語が来て、日本語の「あなたが涙を流す」と同様に他動詞文の構造を取っている。しかし、この場合は主体(“你”(あなた))が対象(“眼泪”(涙))に働きかけて意志的に流出させるのではなく、対象(“眼泪”(涙))が主体(“你”(あなた))の中から無意識的に流れ出てくることを表している。そのため、意味的には自動詞のような特徴を持ち、再帰的用法として使われている⁽²⁾。

また、日本語の「流出する」と中国語の“流出”の主体を比較すると、日本語では「情報」や「資金」のような抽象名詞が上位に来るのに対し、中国語では「血」や「涙」のような液体物や資金が上位に来て、“信息”(情報)はあまり来ないという違いがある。

以上のように、日中両言語の「流出」は「ある空間の中から他の空間への移動」という意味を持つ点で共通する。日本語の「流出する」は自動詞用法、他動詞用法、再帰的用法があるのに対して、中国語の“流出”は自動詞用法、再帰的用法しかない。以上の自他判定基準と分析を受け、本研究では、「流出」を含む29語の日中同形「V出」の自他性と意味について、コーパスから抽出した例文を基にその違いを考察することを目的とする。

2. 先行研究

2.1. 日本語の「V出する」に関する先行研究

日本語の「V出する」を中心にその意味や用法を分析した研究は管見のかぎりがないため、日本語の複合動詞「～出す」と「～出る」に関する先行研究を取り上げる。姫野(1987)は日本語の複合動詞「～出す」と「～出る」を意味的役割と用法から以下のように分類している。

「～出す」:

- ①自：場所から 場所へ/に/まで/に向かって/に向けて ～出す
 場所を ～出す（外部（前面、表面）への移動：突き出す、流れ出すなど）
 他：場所から 場所へ/に/まで/に向かって/に向けて Nを ～出す
 （外部（前面、表面）への移動：追い出す、切り出す、救い出すなど）
- ②場所に/へ/まで 有情物を ～出す（表だった場への出現：突き出す、召し出すなど）
- ③Nを ～出す（顕現：言い出す、書き出す、思い出すなど）
 人が Nを ～出す（創出：作り出す、考え出す、生み出すなど）
 人が Nを ～出す（発見：調べ出す、洗い出す、聞き出すなど）
- ④～出す（開始：泣き出す、笑い出す、歌い出すなど）

「～出る」:

- ①場所から 場所へ/に/まで/に向かって/に向けて ～出る
 （外部（前面、表面）への移動：進み出る、突き出るなど）
- ②人が 人/場所へ/に/まで/に向かって/に対して ～出る
 （表だった場への出現：まかり出る、のさばり出る。訴え出るなど）
- ③人が ～出る（態度表明：買って出る、とって出るなど）

以上のように、姫野（1987）は「～出す」と「～出る」がそれぞれの構文的特徴で分類し、「～出す」と「～出る」の意味特徴を明らかにした。また、「～出す」に「外部への移動」と「動作・作用の開始」の二つの大きな意味があると指摘している。

一方、「V 出する」には「雨が降り出す」のように「雨が降り始める」の「動作・作用の開始」という意味を持たず、「～出す」だけと対応する場合もあれば、「～出る」だけと対応する場合もあれば、両方と対応する場合もある。例えば、「選出する」は「選び出す/*選び出る」のように「～出す」とだけ対応するが、「進出する」は「*進み出す/進み出る」のように「～出る」とだけ対応している。また、「噴出する」は「噴き出す/噴き出る」のように両方と対応する。本研究は姫野（1987）を参考にして、「V 出する」の自他性と意味用法を考察する。

2. 2. 中国語の“V 出”に関する先行研究

中国語の“V 出”の意味的役割と用法を詳しく分析しているものに呂叔湘（1980）がある。呂叔湘（1980:122）は中国語の“V 出”を意味的役割と用法から以下のように分類している。

- ①動+出+[名] [名]はふつう動作の対象、ときに動作の主体のこともある。
- a 人あるいは事物が動作につれて中から外へ向かうことを表す。
 电报已经发～了（電報はすでに打った。）
 你们还派得～人支援别的队吗？（他の生産隊を支援するために、さらに人を送り出せるか）

b 動作の完成を表す。隠れた状態が明白になったり,無から有になるという意味も同時に表す。

生産～糧食（食糧を生産する）

舞台上展现～当年的生活背景（舞台には当時の延安の生活のようすが操り広げられた）

②動+出+名（場所） 人あるいは事物が動作につれて,ある場所から外へ向かうことを表す。

走～办公室（事務室を出て行く）

他把客人送～了大门（彼がお客様を外へ見送った）

（吕叔湘（1980:122 牛島徳次監訳,菱沼透訳 1992）

（例文は一部を抜粋した）

このように、中国語の先行研究は基本的に吕叔湘（1980）と同じく、中国語の“V出”を「内から外へ移動する」ことを表すものと「無い物からあるものへ出現する」ことを表すものの二つに分けている。しかし、吕叔湘（1980）の分類では、“V出”の後ろにどのような名詞が来るかで分類し、“V出”の自他性は明示されていない。そのため、本研究は吕叔湘（1980）の分類に基づいた上で、“V出”の自他性も考察する。

3. 対象語の抽出

本研究では、「Web データに基づくサ変動詞用例データベース（開発版）」、「現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）」と「北京语言大学语料库（BCC）」を用いて分析を行う。まず、日本語の「V出」の考察対象を確定するために、「Web データに基づくサ変動詞用例データベース（開発版）」を用いる。その際、検索欄に「出」を入れ「後項要素」を選択し、出現した用例を取り出し、前項要素はVではない出現例を除外する。「BCCWJ」を使い、対象語の分析を行う。用例から「ガ格」と「ヲ格」を取る例を取り出し、自他性についての分析を行う。一方、中国語の場合は「北京语言大学语料库（BCC）」を使い、日本語と対応する「V出」の自他性を見る。自他性については検索欄に“N+考察対象語”または“考察対象語+N”と入力して例文を抽出した。

以下、日本語、中国語の順に「V出」の自他性と意味の特徴を分析していく。

4. 日本語の「V出する」の自他性と意味

本研究では、日本語の「V出する」を先行研究に基づいて大きく「移動」（内側から外側への動き）と「出現」（無から有への変化、隠れる状態から見える状態への変化）の二つに分け、それぞれ移動物や出現物が対象か主体かによって分けた。さらにそれぞれ動詞の自他性や格構造によって分類した。これを表1に示す。

表1 日本語の「V 出する」の自他性と意味による分類

意味		自他性		格	V 出する (出現数)
A. 移動	a1. 対象移動	他動詞	求心	～カラ～ヲ	抽出 (575) 選出 (264) 救出 (200) 摘出 (139)
			遠心	～ヲ～ニ	提出 (4,402) 輸出 (529) 支出 (440) 発出 (65) 派出 (65) 搬出 (60) 供出 (46) 移出 (37)
		再帰	～ガ～ヲ	放出 (790) 排出 (671)	
	a2. 主体移動	意志的自動詞		～に ～カラ/ヲ	進出 (918) 脱出 (577) 退出 (133) 転出 (115)
		非意志的自動詞		～ガ	突出 (252) 漏出 (22)
	a3. 対象移動と主体 移動の両用	再帰		～ガ/～ヲ/ ～ガ～ヲ	流出 (321)
自動詞、再帰		～ガ/ ～ガ～ヲ	噴出 (280)		
B. 出現	b1. 対象の出現	他動詞		～ヲ	検出 (775) 算出 (724) 演出 (635) 創出 (288) 産出 (217)
	b2. 対象の出現と主体 の出現の両用	自他動詞		～ヲ/～ガ	露出 (367) 現出 (114)

4. 1. 移動

本研究では「内側から外側への動き」を表す場合を「移動」と呼ぶことにする。これは移動物の違いにより「対象移動」、「主体移動」、「対象移動と主体移動の両用」の三つに分けられる。以下、順に見ていく。

4. 1. 1. 対象移動

まず、「対象移動」について見る。「対象移動」は「動作主体が対象をVして外部（前面、表面）へ移動させる」という意味を表し、他動詞用法のものと再帰的用法のものがある。他動詞用法はさらに、「求心的な移動」を表すものと「遠心的な移動」を表すものとに分けられる。

まず、他動詞用法で「求心的な移動」を表すものを例(9)～(11)に示す。

(9) 倒れている人を救出して！(週刊新潮, 2005, 一般) (他-求心)

(10) こうして自分が麻理子から移植腎を摘出しているということにどうしても納得がいかなかったのだ…。(瀬名秀明著『パラサイト・イヴ』, 1995) (他-求心)

(11) 総会の議長は代議員の中から選出する。(厚生労働省編『資料労働運動史』, 2001) (他-求心)

例(9)の「救出する」は「ある人がある場所から人を(対象)自分のところへ救出させる」

という意味を表し、「カラ格」と共起しやい。例(10)の「摘出する」と例(11)の「選出する」も同様である。

次に、他動詞用法で「遠心的な移動」を表すものを例(12)～(14)に示す。

- (12) パネルだけ海外に輸出して、現地で実装などの組立てを行なうのは輸送費のムダなのだ。(週刊ダイヤモンド, 2002) (他-遠心)
- (13) 核兵器の管理権は相手国に渡さないけれども、核兵器をその国に移出するわけです。(坂本義和著『軍縮の政治学』, 1988) (他-遠心)
- (14) 激怒した中将は、あらためて少将あてに厳命を発出し、ようやく第十四連隊主力は第一線に移動を開始した。(児島襄著『日露戦争』, 1990) (他-遠心)

例(12)の「輸出する」と例(13)の「移出する」はある具体物(対象)をある場所に自分から遠い方向へ出させる」という意味を表し、例(14)の「発出する」は「ある抽象物(対象)をある場所に自分から遠い方向へ出させる」という意味を表し、「ニ格」と共起しやすい。

最後に、再帰的用法を表すものは例(15)～(16)に示す。

- (15) さらに運動に伴う老廃物を排出する原腎管をもっている。(日本生態学会編『生態学入門』, 2004) (再帰)
- (16) 水は狭い温度範囲で、固体・液体・気体と相変化し、その際に大量の熱を吸収・放出する。(高等学校地学Ⅱ, 2005, 高) (再帰)

例(15)は「原腎管(動作主体)が(その中から)老廃物(対象-動作主体の一部)を排し出す」を表し、動作主体の対象への働きかけを表すのではなく、動作主体自身の変化を表している。例(16)の「放出する」も同様である。

4. 1. 2. 主体移動

次に、「主体移動」について見る。「主体移動」は「移動主体が自ら動いて外部(前面、表面)へ移動する」という意味を表し、移動主体が有情物で意志的自動詞を取るものと、移動主体が無情物で非意志的自動詞を取るものとに分けられる。

まず、移動主体が有情物で意志的自動詞を取るものの場合を例(17)～(20)に示す。

- (17) 登録患者が管轄区域外に転出した場合、(…後略)(村山正子他著『地域精神保健指導論;感染症保健指導論』, 2005)
- (18) 村上一族が豊前方面に進出したのは、八月初旬のことであろう。(山内譲著『瀬戸内の

海賊』, 2005)

(19) 藤吉郎は信長の御前を退出したのちも、(…後略) (津本陽著『下天は夢か』, 1989)

(20) 曹操が洛陽を脱出する前、朝廷で顔を合わせていた。(三好徹著『三国志外伝』2003)

例(17)は「患者(移動主体)が自ら動いてある場所へ転じ出る」という意味を表し、到達点を表す「ニ格」と共起しやすい。例(18)の「進出する」も同様である。それに対して、例(19)は「藤吉郎(移動主体)が自ら動いてある場所へ下り出る」という意味を表し、「起点/経路/通過点」を表す「ヲ格」と共起しやすい。例(20)の「脱出する」も同様である。

次に、移動主体が無情物で非意志的自動詞を取るものの場合を例(21)～(22)に示す。

(21) このバリエーが破壊されると蛋白が透過漏出することになる。(石原清著『看護病態学講義ノート』, 2003)

例(21)は「蛋白(移動主体)が自ら動かして外部へ漏れ出る」という意味を表している。例(22a)は「主体が周りのものより突き出している状態」を表し、例(22b)は比喩的に「能力や成績が他のものより目立って高い状態」を表している。

(22) a. 扁桃が上記の平面より少し突出しているもの。(武内重五郎著『内科診断学』, 2003)

b. 飛距離性能が突出しているわけではないので、(…後略)。(週刊ポスト, 2005, 一般)

4. 1. 3. 対象移動と主体移動の両用

次に、「対象移動と主体移動の両用」について見る。この類に属する「V出する」は「対象移動」と「主体移動」のどちらにも使われるものである。

まず、自他用法、再帰的用法を持っている「流出する」を例(23)に示す。

(23) a. BさんはAの元彼女で、昨年10月には、写真を外部に流出すると所属事務所を脅迫、10億ウォンを要求したという。(=例(4))(他)

b. 大事な情報が流出すると、企業としての信頼が失墜する。(=例(1))(自)

c. 約2万年前後には、(筆者注:富士山は)大量の泥流を流出した。(=例(5))(再帰)

例(23a)の「流出する」は「Bさん(動作主体)が写真(対象)を外部へ流し出す」という意味を表し、動作主体が対象に働きかけて対象を位置変化させることを表すが、例(23b)の「流出する」は「情報(移動主体-無情物)が自ら動いて外部へ流れ出る」という意味を表す。例(23c)の「流出する」は「富士山(動作主体)が(その中から)泥流(対象-動作主体の一部分)を流

れ出す」という意味を表し、動作主体の対象への働きかけを表すのではなく、主体自身の変化を表している。

次に、自動詞用法、再帰的用法を持つ「噴出する」を例(24)に示す。

- (24) a. アイスランドの火山は玄武岩質であり、流動性の高い溶岩を噴出する。(Web データに基づくサ変動詞用例データベース(開発版))(再帰)
- b. 半月あまりのこのやりとりに、全ての問題が噴出している。(中野利子著『外交官 E・H・ノーマン』,2001)(自)

例(24a)の「噴出する」は「火山(動作主体)が(その中から)溶岩(対象-動作主体の一部)を噴き出す」という意味を表し、動作主体の対象への働きかけを表すのではなく、主体自身の変化を表すため再帰的用法として使われている。例(24b)の「噴出する」は「問題(移動主体-無情物)が自ら動かして外部へ出る」という意味を表す。

4. 2. 出現

本研究では「無から有への変化、または隠れる状態から見える状態への変化」を表す場合を「出現」と呼ぶことにする。これは出現物の違いにより「対象の出現」、「対象の出現と主体の出現の両用」の二つに分けられる。以下、順に見ていく。

4. 2. 1. 対象の出現

まず、「対象の出現」について見る。「対象の出現」は「動作主体がVという手段で対象を出現させる」という意味を表し、人の意志的行為を表すため全て他動詞である。例えば、例(25)～(29)の「創出する」、「産出する」、「算出する」、「検出する」、「演出する」がある。

- (25) 彼女は、戦後の混乱期を子どもを育てながら、さまざまな仕事を自ら創出して働き抜いた。(久田恵著『母のいる場所』,2004)
- (26) 生産者は製品を産出する際、環境から多量のエネルギーや資源を採取し、環境へ汚染物質を排出する。(Web データに基づくサ変動詞用例データベース(開発版))
- (27) 私は相談の現場で、その企業が抱える債務や資金繰りから必要となる収益を算出し、(後略…)(川野雅之著『社長の不安をズバリ解消する民事再生の実務』,2001)
- (28) 試験作業者は、(中略…)作業現場で心線対照光を検出し又は試験光のレベルを読み取る。(松本弘一編『光測定器ガイド』,2004)
- (29) 主役はあくまで子供であることをわきまえて、付き添う側は落ち着きと上品さを演出するように。(辞典編集部編『冠婚葬祭実用辞典』,2001)

また、「産出する」は例(26)のような他動詞用法以外に、例(30)のような再帰的用法もある。これは「作物が(それ自体の中から)毒素を産み出す」という再帰的な意味を表している。

(30) この遺伝子を組み込んだ作物は、同じタンパク毒素を産出するので、害虫がこの作物の一部を噛むと、たちまち死んでしまう。(佐藤進著『立花隆の無知蒙昧を衝く』, 2000)

4. 1. 2. 対象の出現と主体の出現の両用

次に、「対象の出現と主体の出現の両用」について見る。これは「動作主体がVという手段で対象を隠れた状態からその存在が明らかな状態にする」または「出現主体が隠れた状態からその存在が明らかな状態になる」という意味を表す。この類に属する「V出する」には例(31)の「露出する」や例(32)の「現出する」のような自他両用動詞がある。

(31) a. 急増しているモバイルユーザーに対し自店情報を露出し、集客・販売促進にお役立てください。(Webデータに基づくサ変動詞用例データベース(開発版))(他)

b. 欠損部位の骨はノミかアブレーターで軟骨下骨が露出するまで削っておく。(松井宣夫, 立石博臣編『下肢手術完全マスター』, 2005)(自)

(32) a. (前略…)不正義で不平等な社会を現出するという指摘である。(梅原猛著『自然と人生』, 1995)(他)

b. アインシュタインの相対論的世界がそこに現出する。(立花隆著『サイエンス・ナウ』, 1991)(自)

5. 中国語の“V出”の自他性と意味

本研究では、中国語の“V出”を先行研究に基づいて大きく「移動」と「出現」の二つの意味に分けられる。日本語と同様に分けると、表2のようになる。

表2 中国語の“V出”の自他性と意味による分類

意味		自他性		V出(出現数)
A. 移動	a1. 対象移動	他動詞	求心	选出(9,568) 救出(6,358) 搬出(5,184)
			遠心	提出(342,688) 支出(29,005) 輸出(25,004) 供出(1,225) 移出(638) 摘出(328)
		他動詞再帰	求心	抽出(15,828)
			遠心	发出(111,036) 排出(14,909) 放出(11,251)

	a2. 主体移動	自動詞	退出 (28, 728) 脱出 (3, 272) 转出 (2, 629)
	a3. 対象移動と主体移動の両用	自動詞、再帰	流出 (15, 182) 喷出 (6, 685) 漏出 (1, 354)
		自他動詞	突出 (113, 603)
B. 出現	b1. 対象の出現	他動詞	演出 (68, 272) 检出 (16, 940) 产出 (7, 962) 创出 (5, 593) 算出 (2, 921)
	b2. 対象の出現と主体出現の両用	自動詞、再帰	露出 (54, 453) 现出 (7, 501)
例外	进出 (31, 448) は「出入りする」という表し、本動詞の“进”と“出”の並列である。		

5. 1. 移動

本研究では「内側から外側への動き」を表す場合を「移動」と呼ぶことにする。さらに移動するものにより「対象移動」、「主体移動」、「対象移動と主体移動の両用」の三つに分ける。以下、順に見ていく。

5. 1. 1. 対象移動

まず、「対象移動」について見る。中国語の「対象移動」は「動作主体が対象を内側から外側へ移動させる」という意味を表し、単なる他動詞用法のものと、他動詞用法・再帰的用法両用のものがある。両者はさらに、「求心的な移動」を表すものと「遠心的な移動」を表すものに分けられる。

まず、他動詞用法で「求心的な移動」を表すものを例 (33) に示し、他動詞用法で「遠心的な移動」を表すものを例 (34) に示す。

(33) 救援人员从爆炸废墟中救出伤员。(《文汇报》，2005) (筆者訳：救援隊は爆発事故から負傷者を救出した。)(他-求心)

(34) 他已于十四日正式提出辞呈。(《文汇报》，2000) (筆者訳：彼は14日に正式に辞表を提出した。)(他-遠心)

例 (33) は「救援隊 (動作主体) が負傷者 (対象) を自分のところへ救出させた」という意味を表すのに対して、例 (34) は「彼 (動作主体) が辞表 (対象) を自分から遠い方向へ提出させる」という意味を表している。

次に、他動詞用法、再帰的用法両用で「求心的な移動」を表すものを例 (35) に示し、他動詞用法、再帰的用法両用で「遠心的な移動」を表すものを例 (36) に示す。

(35) a. 歹徒突然转过身来，抽出匕首，向他猛刺过去。(《人民日报》，1983) (筆者訳：犯人

- は突然振り向き、ナイフを取り出し、彼を刺した。) (他-求心)
- b. 她用力抽出手，跳起来… (琼瑶，《苍天有泪》，1998) (筆者訳：彼女はつかまれていた手を (ある場所から) 引き抜いて、飛び上がった。) (再帰)
- (36) a. 法院同意了这一申请并发出传票。(《文汇报》，2000) (筆者訳：裁判所はこの申請を認め、呼出状を送った。) (他-遠心)
- b. 农民们眼里忽然发出光亮，可是一下子又暗淡了。(《福建日报》，1984) (筆者訳：農民の目は突然光りを放ったが、すぐにまた暗くなった。) (再帰)

また、例 (35a) は「犯人 (動作主体) がナイフ (対象) を自分のところへ取り出す」という意味を表し、例 (36a) は「裁判所 (動作主体) が呼出状 (対象) を自分から遠い方向へ出させる」という意味を表す。一方、例 (35b) は「彼女 (動作主体) が手 (対象-動作主体の一部) を (ある場所から) 出す」を表し、動作主体の対象への働きかけを表すのではなく、動作主体自身の変化を表すため、再帰的用法である。例 (36b) も同様である。

5. 1. 2. 主体移動

次に、「主体移動」について見る。中国語の「主体移動」は「移動主体の内側から外側への移動」を表している。この類に属する“V出”には例 (37) の“退出”などがある。

- (37) a. 我最后就这样怀揣了一个难解的谜，慌慌张张地退出了。(张炜，《你在高原》) (筆者訳：私は最後に難しい謎を持ったまま、慌てて退出した。)
- b. 难道说，传统港式点心要退出江湖了？(《人民日报海外版》，2016) (筆者訳：もしかしたら、伝統的な香港式飲茶は市場から撤退していくのでしょうか。)

例 (37a) は「人の意志的に内側から外側への移動」を表すのに対して、例 (37b) は「物の無意志的に内側から外側への移動」を表す。

5. 1. 3. 対象移動と主体移動の両用

次に、「対象移動と主体移動の両用」について見る。この類に属する中国語の“V出”は「対象移動」と「主体移動」のどちらにも使われるもので、例 (38) の“喷出”などのように再帰的用法と自動詞用法の両用として使われている。

- (38) a. 那次他支气管扩张，满嘴喷出鲜血。(《人民日报》，1997) (筆者訳：気管支が拡張し、彼は口から血を噴き出した。) (再帰)
- b. 天然气受压膨胀喷出地面… (《人民日报》，2000) (筆者訳：天然ガスが圧力を受けて

膨張すると、地表に噴出した。) (自)

例(38a)は「彼(動作主体)が鮮血(動作主体の一部)を内側から外側へ非意志的に移動させる」という意味を表し、例(38b)の「噴出する」は「天然ガス(移動主体)が内側から外側へ移動する」という意味を表す。

この他、この類には例(39)の“突出”のような自他両用動詞の例もある。例(39a)の“突出”は“重点”(要所)という目的語が来て、「(ある人)が要所(対象)を強調する」という意味を表し他動詞として使われるのに対して、例(39b)の“突出”は“重围”(危機)という場所名詞を取り、日本語の「起点」、「経路」、「通過点」を表す「ヲ格」の役割に相当するため、自動詞であると考えられる。

- (39) a. (前略) 突出重点, 反映特色以引起顾客注意。(科技文献) (筆者訳: 要所を強調して特徴を反映させることで、お客さまの関心を集めている。) (他)
- b. 经管类图书原创突出重围 (…後略) (《福建日报》, 2006) (筆者訳: 経営や経済に関する本は危機から脱出し、…) (自)

5. 2. 出現

本研究では「無から有への変化、または隠れる状態から見える状態への変化」を表す場合を「出現」と呼ぶことにする。これは出現物の違いにより「対象の出現」、「対象の出現と主体の出現の両用」の二つに分けられる。以下、順に見ていく。

5. 2. 1. 対象の出現

まず、「対象の出現」について見る。中国語の「対象の出現」は「動作主体がVという手段で対象を出現させる」という意味を表し、人の意志的行為を表すため全て他動詞である。例えば、例(40)の“检出”や例(41)の“创出”などがある。

- (40) 检出蜂蜜中掺入的廉价甜味品虽然困难 (…後略) (科技文献) (筆者訳: 蜂蜜に混入した安価な甘味料を検出することは困難だが、(…後略))
- (41) 只有更科学更刻苦地训练, 在奥运会上创出好成绩, (…後略) (《人民日报》, 2003) (筆者訳: より科学的で真剣な訓練をして、オリンピックでよい結果を出す (…後略))

例(40)「ある具体物(対象)を出現させる」という意味を表し、例(41)は「ある抽象物(対象)を出現させる」という意味を表す。

5. 2. 2. 対象の出現と主体出現の両用

次に、「対象の出現と主体出現の両用」について見る。この類は「出現主体が出現主体の一部分を隠れた状態からその存在が明らかな状態にさせる（再帰）」または「出現主体が隠れた状態からその存在が明らかな状態になる」という意味を表す。この類に属する“V出”には例（42）や例（43）のような再帰的用法と自動詞用法の両用動詞がある。

- (42) a. 他终于现出原形，彻底暴露了。（《人民日报》，1957）（筆者訳：彼がついに（自分の）本来の姿を現し、完全にバレた。）（再帰）
 b. 可以感到他的精细，文章之道，也从中现出。（《人民日报》，2001）（筆者訳：彼の繊細さが伝わってきて、そこから文章の書き方が出てくる。）（自）
- (43) a. 他被感动了，脸上露出歉意。（《人民日报》，1987）（筆者訳：彼は感動して、申し訳なさそうな顔をしている。）（再帰）
 b. 平地之水，已流入河内，大部土地现出。（《人民日报》，1947）（筆者訳：平地の水が川に流れ込み、大部分の土地が露出してしまった。）（自）

例（42a）「彼（出現主体）が自分の本来の姿（出現主体の一部分）を隠れた状態からその存在が明らかな状態にさせる」という意味を表し、動作主体の対象への働きかけを表すのではなく、主体自身の変化を表すため再帰的用法として使われている。この場合、変化の主体（出現主体の一部分）に焦点が当たっている。それに対して、例（42b）は「ある具体物或いは抽象物（出現主体）が隠れた状態からその存在が明らかな状態になる」という意味を表し、出現主体の“文章之道”（文章の書き方）の出現に焦点が当たっている。例（43）も同様である。

6. 日本語の「V出する」と中国語の“V出”の対照

以上、日本語の「V出する」と中国語の“V出”の自他性と意味についてそれぞれ考察した。以下、日中同形二字漢語動詞「V出」の違いについて見る。

まず、自他性について見る。表1と表2の「自他性」のところから分かるように、日本語の「V出する」も中国語の“V出”も自動詞用法、他動詞用法、再帰的用法の三つに分けられる。しかし、再帰的用法について、日中同形「V出」は以下の違いが見られる。

- (44) a. 原子が光を{放出する/放つ}。/原子放出光。（作例）
 b. 彼の目が光を{[?]放出する/放つ}。/他的眼睛(里)放出光。（作例）
- (45) a. 富士山が泥流を{流出する/流す}。/富士山流出泥流。（作例）
 b. 彼の鼻が血を{[?]流出する/流す}。/他的鼻子(里)流出血。（作例）

例(44a)や例(45a)のように「自然物がその中から自発的に対象を出す」という意味を表す場合は日中同形「V出」が対応するが、例(44b)や例(45b)のように「人の体の一部分がその中から対象を出す」という意味を表す場合は日中で対応しない。

次に、意味について見る。日本語の「V出する」も中国語の“V出”も「求心的な移動」と「遠心的な移動」の二つに分けられる。しかし、視点の捉え方について、以下の違いが見られる。

(46) ドナーから心臓を摘出する。(作例)(求心)

从捐献者(身上)摘出心脏。(作例)(遠心)

(47) 王さんが椅子を搬出する。(作例)(遠心)

小王搬出椅子。(作例)(求心)

例(46)の日本語の「摘出する」は「動作主体が心臓をドナー側から自分の側へ移動させる」という求心的な意味を表すのに対し、中国語の“摘出”は「動作主体が目の中の心臓を外部に移動させる」という遠心的な意味を表している。一方、例(47)の日本語の「搬出する」は対象を動作主体側から外部に移動させるという遠心的な意味を表すのに対し、中国語の“搬出”は対象を自分の側に移動させるという求心的な意味を表している。

また、日本語の場合は表1のように意志的自動詞と非意志的自動詞の二つに分けられる。それに対して、中国語の“退出, 脱出, 转出”は二つに分けられない。例えば、例(48)のように中国語は有情物と無情物の両方が来るのに対して、日本語は有情物しか見られない。

(48) 小李退出房间。/李さんは部屋を退出する。

国有企业退出市场。/?国有企业は市場を退出する。

最後に、日本語の「V出する」は例(49)のような実際の場面の報道などの特定の場面では、「テイル」は進行中の意味を表すが、中国語は“V出”の結果(完了)として捉えられるため、アスペクト助詞“着”や進行中を表す副詞の“正在”とは共起しにくい。

(49) 傷病者を建物2階から安全・確実に地上へ救出している状況です。

(<https://www.shirakawa.jp/page/page000399> 検索日:2022年6月19日)

*救出着伤员/?正在救出伤员

7. 終わりに

本研究は日中同形二字漢語動詞「V出」の自他性と意味を考察した。しかし、中国語の“V出”は今回の29例以外にも“作出”、“听出”、“飞出”など多くある。これらの例は日本語の「V出する」ではなく、複合動詞「V出す」と「V出る」（「作り出す」、「聞き出す」、「飛び出す/出る」）と対応する。そのため、中国語の“V出”はどのような場合に日本語の複合動詞と対応するか、どのような場合に日本語の漢語動詞と対応するかは今後の課題とする。

注

- (1) 工藤（1995：52）は、他動詞は「主体から客体へとはたらきかける外的運動を表す」のに対して、再帰用法は「はたらきかけ性のない内部運動（自己運動）」と定義している。両者の違いは「はたらきかけ性の有無＝主体・客体関係の有無点で異なっている」と述べている。本研究では「主体から客体へとはたらきかける外的運動」の場合は他動詞、「はたらきかけ性のない内部運動（自己運動）」かつ「主体と客体（「ヲ格」対象）が全体・部分関係」の場合は再帰的用法とする。
- (2) “他的眼里流出眼泪”（彼の眼から涙を流し出した）のように主体が対象に働きかけて位置変化を起こさせているという意味ではなく、対象が自然に主体から出てくることを表している場合、構文上他動詞の特徴が見えるが意味的には自動詞のような特徴を持っている。このような動詞は中国語文法では存現動詞と呼ばれている。これは本研究の再帰的用法に相当するため、本研究では日本語の用語に合わせて再帰的用法と呼ぶことにする。

参考文献

日本語：

- 工藤真由美（1995）『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現』ひつじ書房
 姫野昌子（1987）「複合動詞「～でる」と「～だす」」『日本語学校論集』4号, pp. 71-95
 呂叔湘（1980）『中国語用例辞典』牛島徳次監訳, 菱沼透訳, 東方書店

中国語：

- 呂叔湘（1980）《現代漢語八百詞》（増訂本）商務印刷出版社
 刘月华（1998）《趋向补语通释》北京语言文化大学出版社

用例出典：

- 現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版：<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>
 BCCWJ オンライン検索システム：<https://nlb.ninjal.ac.jp/>
 Web データに基づくサ変動詞用例データベース（開発版）：<https://csd.ninjal.ac.jp/sahen/>
 荀恩东, 饶高琦, 肖晓悦, 臧娇娇. 大数据背景下 BCC 语料库的研制[J], 语料库语言学, 2016(1)
<http://bcc.blcu.edu.cn/>